

HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第33号

同の図書館情報をお知らせします

2012年11月T日号



おいしい情報が

いっぱい!

12 PIECES

今回の12ピースのテーマは『仕事』がメインテーマの本。仕事熱心なHONTANメンバーに、仕事熱心な本を紹介してもらいました!

| | | | | | |
|--|---------------------|---|--------------|--|--------------|
| 伊之上の セレクト 『トッカン―特別国税徴収官―』 京橋税務署管内で脱税者と構われ者の特別国税徴収官(トッカン)との知恵比べが始まる。 | 高殿円 913.6/T | あんこの セレクト 『書店ガール』 本好き、書店好きなら読むべし! | 碧野圭 913.6/A | 空の セレクト 『県庁の星』 県庁期待の星がスーパーで交流研修。しかし役人の常識は通用しなくて…。 | 桂望実 913.6/K |
| スーモの セレクト 『舟を編む』 辞書とは、言葉という大海原を航海するための船である。 | 三浦しをん 913.6/M | きょうの セレクト 『イノセント・ゲリラの祝祭』 これが論争である。 | 海堂尊 913.6/K | のずみの セレクト 『黒い太陽』 頂点を目指して、夜の世界へと深く潜っていく。 | 新堂冬樹 913.6/S |
| 七味の セレクト 『ビブリア古書堂の事件手帖 ~葉子さんと奇妙な客人たち~』 古書にまつわる謎と秘密の物語。 | 三上延 913.6/M-[1] | 傘の セレクト 『刑事のまなざし』 過去と戦うため 法務技官から刑事へ…。 | 薬丸岳 913.6/Y | きのこの セレクト 『シアター!』 貧乏劇団が背負った借金は300万。彼らのドタバタ奮闘劇をお楽しみあれ! | 有川浩 913.6/A |
| なのかの セレクト 『ギフト』 国家試験の問題から毎まで依頼人に届ける「届け屋」は記憶喪失。彼が「届ける」ことに執着する理由とは? | 飯田譲治・梓河人 913.6/I 閉架 | きゅうの セレクト 『となり町戦争』 主人公の仕事は、偽装結婚をしてとなり町を見張ること…! | 三崎亜記 913.6/M | 珠の セレクト 『D列車でいこう』 廃線が決定したローカル鉄道を救うため、リタイア直前の男女が立ち上がる。ロマンチック・ビジネス・ストーリー。 | 阿川大樹 913.6/A |

HONTAN 雑誌の書評を 紹介

Pickup MAGAZINES

Idea アイデア
2012年9月号 354号
『日本オルタナ出版史
ほんとうに美しい本』
という特集では、1923

年9月1日の関東大震災から、1945年8月15日の日本敗戦までにおける出版史における31人の出版人について紹介しています。

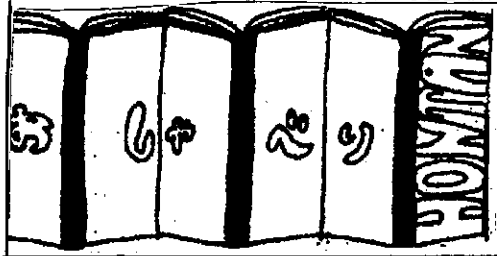
本は作者1人では完成しません。出版人がいてはじめて出版されます。いままでは文学史では詩人の本として、美術史では画家の本として紹介されていた本たちを、出版人から紹介という新しい分け方をした世界を覗いてみてはいかがでしょうか。

(あき)

コラム カノンの「霜月」の本探力

11月になり、1年もあと2カ月で終わろうとしています。旧暦で12月を師走というのは結構有名だと思います。今が11月というのがありますが、今回は霜月の語源について紹介します。

霜降り月の略とする説が有力とされていますが、他にも神無月を上な月と考え、下な月とする説、上下の下と見る説、食物月(おしものつき)の略とする説や摺初月(すりもみづき)の意味などがあります。これを機会に他の旧暦の語源を調べるのもいいのでは?⇒江戸ごよみ十二月 季節とあそぶ 旧暦でめぐる四季のくらし 386.136/T



珠：今回のおしゃべりのテーマは「理想の本屋さんを語ろう！」です。

紀伊園屋や丸善のような大きな書店が良いか？ それとも町の本屋さんのような、小さくも親しみやすい本屋さんのほうが良いか？

むしろAmazonさえあれば十分？ 個人的な願望垂れ流しで構いません。

「こんな本屋さんは嬉しい！」というような理想を語りましょう。

空：大きな本屋さんのほうが色々選べるし検索機？ もあって便利なのでよく利用します。

理想ってほどの理想ではないですけど、ただ本棚に並べるのではなく本棚に表紙が見えるようにおいてくれると見ているだけでも楽しいので嬉しいです。

Amazonでは買ったことないですねー。

本屋さんでどの本にしようか選ぶ時間が好きです♥

あんこ：わたしの理想の本屋さんはず傘：理想…というより、こんな本屋は好き！ っていうのはあります。

本棚が作家順でもいいのですが、冒険もの！恋愛もの！などのジャンルごとに棚に並んでたら、その時の読みたい本が選べるのでいいな〜と思います。

きょう：理想の本屋さんですと、その本独自のフェアであったりコーナーとか作られてるとうれいすね。

ほかの本屋さんでは見れないものですし、自分の全然知らないジャンルの本にも出会えますしね！

わたしも表紙が見えるようにしてあると嬉しいです！それでよくジャケ買いもしてしまうので…。

あと、つけてくれるブックカバーが可愛いところ！とか！！

Amazonさんも便利ですけどねー、どこの本屋さんにも在庫がないときとか、中古でも販売してるので。

ただ自分で手に取って内容が見れないのが難点ですね…。

文具も一緒に取り扱っている本屋です。本も、文具も見るのが好きなので、両方あるといいですね。また、本を見ながら何かアイデアが浮かぶと、アイデアに必要な文具をすぐに探することができます。

あと、専門書を多く扱っている本屋は素敵だと思います。自分が学んでいる分野の本を読むことが好きなので、たくさん扱ってってくれると嬉しいです。

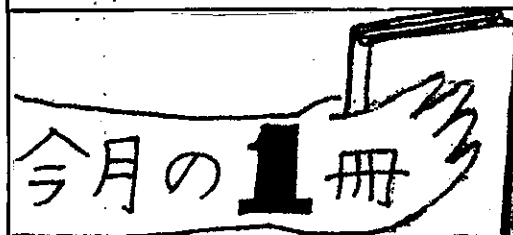
きょう：個人的な趣味ですが、本を買った時にカバーをしっかりとつけてくれる本屋さんが好きです。

普通の本屋さんではカバーで本を包むだけなので…。

私は大きな書店も好きですが、隠れ家的なひっそりとした本屋さんも好きです。こじんまりしてたり、町のすみっこにある本屋だったり、母の田舎にある「町の本屋さん」も好きでした。



『ブラック・スワン』
778.72/B



本谷有希子 913.6/M

『乱暴と待機』

“兄”は“妹”を天井裏から覗く。“妹”は“兄”から最も残酷な復讐をされる日を待ちながら暮らしている。陰気な一緒に家で暮らす二人は、お互いにいろいろなことに気付かないふりをして、素直になれないまま日々を過ごす。しかし、そんな日々にあるカップルが介入したことから二人の生活が少しづつ変化していき……？

爽やかとか華やかなんて全然全く到底似合わない、暗くてもどかしくて面倒くさくて、更にほんのりと気持ち悪いえにちょっとずれた人たちによる、切なくて不器用な物語。特に終盤、2段ベッドの上と下で「思ってもないこと」を話すシーンに胸が締め付けられます。

兄と妹の、突拍子もなく不可思議な物語をぜひ堪能して下さい。(とおか)

『白鳥の湖』の主演に抜擢されたバレリーナのニナ。潔白な白鳥と官能的な黒鳥の2役を演じることになったニナだが、真面目な性格の彼女には、黒鳥を上手く演じることができない。黒鳥を演じきれないストレス、主演の座を奪われるかもしれないというプレッシャー。様々な思いが交錯し、ニナの精神は徐々に崩壊していく…。(Y田)